

カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社Gサポート

D データ活用	表計算ソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
----------------	-----------------	---------------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ①ピボットテーブルとピボットグラフの特徴 ②各部の名称と機能 (2)ピボットテーブルの活用 ①ピボットテーブルを作成する ②データの更新、追加方法 ③指定項目を絞り込んで集計する (3)表を見やすく加工 ①レイアウトを変更する ②集計表のデザインを変更する ③条件付き書式を設定する 各機能について講師の実演・解説に基づき、課題作業を行うことにより理解を深めます。 【演習】与件の情報を用いたピボットテーブルの作成	1.5
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ①ピボットグラフの特徴 ②ピボットグラフを作成する (2)グラフに表示する項目の変更 ①円グラフでデータの割合を確認する ②折れ線グラフでデータの推移を見る 各機能について講師の実演・解説に基づき、課題作業を行うことにより理解を深めます。 【演習】与件の情報を用いたピボットグラフの作成	1.0
	3 さまざまな活用ワザ	(1)さまざまな活用ワザ ①ピボットテーブル全体をコピーする ②印刷タイトルを設定する ③分類ごとに改ページ設定する 【演習】与件の情報を用いたさまざまな活用ワザ	0.5
	4 複数テーブルの分析	(1)リレーションシップとは ①リレーションシップの目的・用途 ②リレーションシップ設定 (2)パワーピボットとは ①パワーピボットを使う準備をする ②パワーピボットでリレーションシップを設定する ③パワーピボットでピボットテーブルを作成する 各機能について講師の実演・解説に基づき、課題作業を行うことにより理解を深めます。 (3)パワークエリとは ①様々な形式のデータの読み込み ②リレーションシップを設定する ③ピボットテーブルを作成する 【演習】与件の情報を用いたリレーションシップの設定 【演習】総合演習	3.0
		合計時間	6.0